
SECTION 6 の練習問題解答例

公共選択 2020: 浅古泰史

挑戦者を選択した場合、有権者は 1 の利得を得る。一方でグッド・タイプの現職政治家を再選させれば利得 2 を得るが、バッド・タイプの現職政治家を再選させれば利得はゼロになる。よって、グッド・タイプなら再選させ、バッド・タイプなら落選させることが投票者にとっては好ましい。以上から、投票者が現職政治家のタイプを知った場合、グッド・タイプは再選させ、バッド・タイプは落選させる。

バッド・タイプは、どの政策を選択しても再選されることはないため、1 期目には悪い政策を必ず実行する。

この場合、バッド・タイプが再選される可能性はゼロである。よって、徹底した情報開示により、選択効果は強まっている。その一方で、再選の可能性がないバッド・タイプは、良い政策ではなく、自身にとって好ましい悪い政策を実行するため、規律効果はなくなっている。

NOTE: 実質的に、講義内で解説した「不確実性がないケース」と同じ結果になっている。ただし、メディアの役割自体は様々な視点から論じられており、言うまでもなくメディアの重要性が指摘されている。興味があれば、まずは教科書の CHAPTER 7 やその参考文献などを参照されたい。